

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 31 日作成)

委員会名	住環境小委員会	主 査 名：塩崎賢明
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：鳴海邦碩
設置期間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画	日本の住環境の現状と課題に関する総括的研究 2001 年度：都市の住環境が内包する諸問題についての分析、その方法論の検討 2002 年度：都市化終焉、少子高齢社会における居住地の再編過程の動向把握 2003 年度：居住地再編過程、郊外居住地の変容動向の把握、WG の設置 2004 年度：居住地再編動向の把握と住環境政策の検討。研究のとりまとめ。	
委員構成 (委員名(所属))	塩崎賢明(神戸大学) 齊藤広子(明海大学) 平山洋介(神戸大学) 大家亮子(成城大学) 有賀隆(名古屋大学) 加藤仁美(東海大学) 北原啓司(弘前大学) 児玉善郎(日本福祉大学) 清水肇(琉球大学) 野澤 康(工学院大学) 堀田祐三子(神戸大学) 増田昌彦(大阪府) 松本暢子(大妻女子大学) 間野博(県立広島女子大学) 宮本知明(マヌ都市建築研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)	郊外居住地研究ワーキンググループ 高度成長期に大都市圏で大量に形成された郊外居住地の形成・発展・現状の動向を、各都市圏で分担しながら共通的な手法で把握し、比較の材料を整えることを具体的な作業課題とする。	
2004 年度予算	310000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	建築学会大会にあわせて小委員会を開催した。2004 年 8 月 31 日。10 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>1) 2004 年度大会(北海道)において、パネルディスカッションを開催した。 テーマ：「都市再生」と住環境政策、 都市再生戦略の進行の中で、変貌する都市の居住地の現状を捉え、快適で安全でうるわしい都市居住地を築いていく方途について議論した。</p> <p>2) 研究資料「都市再生と住環境政策と住環境政策」の発行(完売)</p> <p>3) 2004 年度大会において、オーガナイズド・セッションを企画した テーマ：居住地の変容・再編と事業・政策 上記活動企画のため、小委員会を開催した。</p> <p>3) 郊外居住地見学会の開催。上記研究活動の一環として、WG が中心となって、関東圏の郊外居住地の見学会を開催した。(2004 年 3 月、前年度分)</p> <p>4) 郊外居住地WG 研究交流会を行った 2005 年 3 月 8 日(火) 1:00 ~ 5:30、建築会館 参加者 小場瀬、加藤、小浦*、中西*、野澤、吉田(敬称略)</p> <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>住環境をめぐる今日の状況の把握と、これに対する有効な政策の樹立をめぐる議論を積極的に展開することができた。商業出版までを視野にいたれたアウトプットを目指したものの、そこまでにはいたらなかったが、委員会設置期間中に 3 冊の研究資料を発行し、いずれも好評完売であったことは、大きな成果であったと考える。また、郊外居住 WG はなお活発に活動を展開中であり、2005 年度に研究資料の発行を目指して、研究活動を継続している。</p>
その他評価すべき事項	特になし